

<別紙> 2013年度 NEC匠塾 カリキュラム

(1) 開講式・オリエンテーション

【日時】10月8日(火) 16:00~18:00

【会場】NEC本社ビル(東京都港区芝5-7-1)

【内容】講座の目的・研修内容の確認、今後の課題について

(2) ワークショップI: 人生の棚卸し ~これまでのキャリアを社会貢献につなげるために

【日時】10月16日(水) 16:00~19:00

【会場】NEC本社ビル(東京都港区芝5-7-1)

【目的】○過去の人生・経験の棚卸しを行ない、モチベーションタイプやポータブルスキルの観点を踏まえて整理する。

○整理した自分の経験・能力を、社会貢献でどのように活かしていくかを考える。

【内容】○「自分史」の作成と共有

○経験の整理(成長曲線を描く)

○能力の整理(転用可能性の模索)

【講師】若月 誠 氏(株式会社リンクアンドモチベーション フェロー)

(3) 基礎講座 ※いずれも16:00~18:00

(事情により時間帯は変更の場合もあります)

◆ 第1回◆ 10月29日(火)

「個々の力を多彩につなげ、地域の危機を乗り越える」

生活環境が変化し、地域が危機に瀕する中で、問題の本質を探り、個人としてどう取り組んでいくべきか。既存の価値観の延長線ではなく新たな社会づくりのために何が必要か。社会づくりの担い手としてのNPO、ボランティアの可能性について学ぶ。

【講師】松岡 紀雄 氏(神奈川大学 名誉教授/公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事)

◆ 第2回◆ 11月8日（金）

「セカンドライフの挑戦～シニアの社会貢献と自己実現」

定年退職後、身につけたスキルを活かして社会参加するため、どのように行動を起こしたらいいか、また力を役立てるために必要な心がけは、シニアにとっての「自己実現」とは何か。

匠塾1期生・2期生から、その実践を学ぶ。

【講師】榊原 福司 氏（匠塾1期生）、関 伸夫 氏（匠塾2期生）

◆ 第3回◆ 11月14日（木）

「プロボノとしてNPOと関わる」

社会人が、社会的な課題の解決に取り組む革新的な事業に対して、資金の提供と、パートナーによる経営支援を行なうという、社会人とNPOとの新しい関係の作り方と運営方法について学ぶ。

【講師】岡本 拓也 氏（NPO法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京 代表理事）

◆ 第4回◆ 11月21日（木）

「地域資源を活用した課題解決へのアプローチ」

地域が抱える多様な課題を解決するために、市民やNPO、地方公共団体、商工団体、大学などと連携した信用金庫としての実践を学ぶ。

【講師】長島 剛 氏（多摩信用金庫 価値創造事業部部長）

◆ 第5回◆ 12月3日（火）

「都会と田舎のネットワークが新しい産業を生む
～地域おこし・農村起業の実践」

都会と田舎を結ぶNPOやソーシャルビジネス、そしてそこで活躍する人々のネットワークが地域の共有財産となり、新たな価値ある産業を生む。そのための働きかけや仕組みづくりの実践を学ぶ。

【講師】矢崎 栄司 氏（アースワークルーム代表）

◆第6回◆ 12月10日(火)

「NPO、社会企業とは何か 現状と課題」

民間による公益活動の受け皿・活動主体としても NPO・NGO、社会企業の現状や課題を多様な事例と共にひも解く。

【講師】高橋 陽子(公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長)

(4) ボランティア体験プログラム

①合宿プログラム(1泊2日)

【日時】10月18日(金)~19日(土)

【場所】社会福祉法人太陽福祉会 日の出太陽の家

日の出太陽の家ボランティアセンター(東京都西多摩郡日の出町)

【内容】○レクチャー:知的障がい者福祉の現状と日の出太陽の家の取り組みと課題

○利用者(知的障がい者)との共同作業/交流会/懇親会

②現場実習プログラム(半日~1日)

社会的企業・NPO・NGOを訪問し、活動の意義を学ぶと共に実務を体験。

【日程】11月下旬~1月

【活動先団体(予定)】

○特定非営利活動法人NPOカタリバ

(NEC社会起業塾2004年度修了生)

○特定非営利活動法人かものはしプロジェクト

(NEC社会起業塾2003年度修了生)

○株式会社タウンキッチン

(NEC社会起業塾2009年度修了生)

○特定非営利活動法人ビッグイシュー基金

③インターンシップ(最大4週間)

NPO・NGOにおいてインターンシップを実施。

【期間】 2013 年 12 月～2014 年 2 月

(5) ワークショップⅡ：セカンドライフ・プランニング

【日程】 2014 年 2 月

【目的】○ボランティア体験・インターンシップで活かすことのできた（できなかった）自分の経験・能力を振り返る。

○ボランティア先からのフィードバックを基に、ボランティアや社会起業に求められるコミュニケーションスタイルを考える。

【内容】○ボランティア体験の振り返り

○コミュニケーションスタイルアンケートの分析・共有

○アクションプランの立案

【講師】若月 誠 氏（株式会社リンクアンドモチベーション フェロー）

(6) 修了式

【日時】 2014 年 3 月

以上

NEC 匠塾 1 期生・2 期生の声

●60代女性

講座はどれも大変満足しました。講師陣がすばらしく、匠塾でなければお会いできなかった方々のお話を少人数で聴けたことは有意義な経験でした。

印象に残っているのはボランティア体験プログラムです。知的障害者の方々とのふれあいを初めて経験して、同じ人間として接する姿勢を学びました。また、サポートする人々の考え方や意識はとても学ぶことが多かったです。街中や電車などで会う障害者の方を見る意識が自分でも変わってきました。

●60代男性

「これから何かを始めよう！」「自分に何ができるか？」と思ったとき、今回のプログラムは大変参考になりました。自己の振り返りから始まり、いろいろな事業形態、具体化の方法、活動資金の集め方、設立・推進者の苦労談など多方面から話が聞け、勉強になりました。勤めている時は、仕事柄、組織と組織の繋がり、体面が重要視される場面が多かったのですが、今後は、「人との繋がり」「出来る事から直ぐに」「行動しながら対応・変化」を心がけ行動して行きたいと思いました。

●60代男性

合宿で他の塾生の皆さんと寝食、行動を共にすることにより、プログラム終了後は参加前と比較し全員の距離が短くなり、チームとしての親密さが増しました。それが共同での NPO 立ち上げの行動につながったように思います。新たな仲間を得ることができ、仲間らの考え、行動に触発されています。

●60代男性

体験ボランティアでは、話を聞くだけでなく、当事者としてその中に入り込んで得られることが大いにありました。障がいのある人たちや、困難に立ち向かっている人々への交流機会が増え、行動範囲が非常に広がり、以前言われた「考えているばかりで行動しない」という私の弱みが薄まってきているようです。地域の障がい者支援施設とのつながりができ、スタッフの人に受け入れてもらえるようになり、自分でも指示を待たずに気付いたことにどんどん取り組めるようになっていきます。